



なんぶ

議会だより

第66号

令和2年12月議会
発行/令和3年2月

迎春

円山地区とんどさん

無病息災とコロナ退散を祈って

●令和2年12月議会報告……2

●一般質問ダイジェスト……7

●令和3年度町政に対する要望事項…14

●あしがき ……………16

12月議会報告

令和2年12月定例議会は12月4日(金)より16日(水)まで会期13日間で開催されました。
3件の条例の一部改正、9件の公の施設の指定管理者の指定、一般会計他3件の補正予算など、18件の議案、4件の陳情、5件の発議案が審議されました。

公の施設の指定管理について

- 南部町総合福祉センターいこい荘・・・スポネット南部
- 南部町民野球場、南部町民運動場・・・スポネット南部
- 南部町営西伯カントリーパーク・・・(株)TKSS
- 南部町農産物直売所・・・緑水湖ふれあい市運営委員会
- 南部町地域農産物加工施設めぐみの里・・・JOCA南部

全会一致
で可決

- 南部町東長田山村広場・東長田山村施設交流
ふれあいセンター・・・南さいはく地域振興協議会
- 青年の家・・・南さいはく地域振興協議会
- 上長田会館・・・南さいはく地域振興協議会

賛成多数
で可決

討論

反対

- 施設を一体管理すべきだと云っている。
- 地域振興協議会へ指定管理として出しているの、一つ一つの施設の光熱水費の管理をそれぞれの振興協議会が行っている。これは二重手間である。
- 鍵の管理と施設の管理は振興協議会が行い、その他の光熱水費の管理等は町が行えば良い。
- 施設管理の職員は町が直接雇い、保証も行えばよい。
- 地域振興協議会の集落支援員は施設管理の仕事が主となっている。本来の集落支援の仕事きちんと出来るようにすること、町の責任をはっきりさせるために、直営にもどすべき。

賛成

- 町に電話で施設が利用できるかの確認を行い、振興協議会から鍵を借りる、利用者の利便性を考えれば、二度手間である。
- 南さいはく地域振興協議会では半日雇用の人も含め7人の方がいる。集落支援員は施設管理に関わっていないので、施設管理の仕事がなくなれば相当数の方が辞めることになる。
- 町の施設は町民の物であり、町職員だけが管理運営に携わると言う事ではなく、町民全員が広く関わるべき。

議員名（議席番号順）	谷田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
賛否	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

一般会計補正予算

一般会計補正予算の審査結果

今回の補正予算は新型コロナウイルス感染症対策のもの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い執行できなかった事業が多くありました。

賛成多数で可決

主な事業

三世代同居支援事業

120万円増額 合計760万円

想定以上の申請相談及び申請があったため。

南部町農林業基盤補助金交付事業

436万円増額 合計912万円

西原地区で用水管漏水、宮前一地区で用水ポンプ故障、金田地区で用水路の破損、東町地区でため池からの漏水等があり、改修工事が必要となったため。



がんばれふるさと寄付金事業

1682万2千円増額 合計5652万7千円

返礼品が当初の予定額を超えるため。

法勝寺中学校外壁改修事業

(新規) 2200万円

法勝寺中学校外壁タイルが一部剥落している事が分かり、早急な改善工事が必要となった。



改修場所

成人式



182万6千円増額 合計292万5千円

県外から帰省する新成人にPCR検査を受けてもらう費用を増額した。

法勝寺電車ジオラマ制作事業

(新規) 224万6千円

今年5月にオープン予定の複合施設に法性寺電車のジオラマと資料を展示する。

南部町版持続化給付金

1000万円減額 合計500万円

想定以上に国の持続化給付金（前年同月対比50%減額）に該当する事業者が多く、本町の持続化給付金の対象となる事業者が少なく見込まれる事から減額。

討論

反対

南部町版持続化給付金は1500万円予算を組んでいて1000万円減額するのは多すぎる。鳥取県、米子市、伯耆町などの持続化給付金は国の給付金が貰えれば、その上乗せをする制度だが、南部町だけ制度が違う。

賛成

当初計画した事業縮小で減額はやむをえない。今回、予算として追加したものはどれも必要なものだ。持続化給付金南部町版は国の制度からもらえる50%未満の人をフォローするもの。不用額の1000万円は返納でなく繰り越して別の事業へ使用可能で活かせる。

議員名（議席番号順）	谷田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三鴨	仲田	板井	細田	亀尾	真壁
賛否	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

陳情

日本政府に核兵器禁止条約の批准を求める陳情

賛成多数で採択

討論

反対

●隣国である北朝鮮・中国からの「核の脅威」から日本を守る現在の手段としては、日米安全保障条約と核拡散禁止条約の「傘の下」で、被爆日本国の立場から核廃絶に向けたメッセージを発信することが賢明である。

賛成

●世界で唯一の被爆国である日本が推進しないのは核に対する発信力が無いことになる。
●日本はアメリカの核の傘下にあると云うが、被爆した住民の感情を考えると、核兵器の廃絶、核の傘下を取り外す運動が必要だ。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	眞壁
賛否	○	○	○	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○

陳情

日本学術会議人事への介入をやめ、6名の任命拒否の撤回を求める陳情

賛成少数で不採択

討論

反対

●指名権は内閣総理大臣であり、総理は総合的・俯瞰的な立場から任命拒否した。
●学術会議のあり方について今後、議論がなされることを期待する。

賛成

●地方自治体の議会が国へ意見書を出すことは地方自治法で認められている。おかしいと思う事であれば意見書として出すべき。
●6人の任命拒否の問題点は戦前の日本で言論弾圧が始まった頃と似ている。大変大きな問題である。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	眞壁
賛否	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	○

陳情

西部広域のごみ処理「基本構想案」の撤回を求める陳情

賛成少数で不採択

討論

反対

●西部広域の説明を受け、広域化の考え方は理解出来た。国が進めるゴミの集約化、施設の大規模化はダイオキシンの削減にも繋がる。
●大型施設を一つ作った方が各自治体に施設を一つづつ作るより安い。大型施設だと発電能力が上がり、その分CO2の削減にも繋がる。
●今回の問題は日野3町に配慮して貰った事。基本構想も費用の事もこれからの事であり、修正意見を述べる事などは次の段階。
●柏耆町は広域化に賛成している。南部町単独でごみ処理施設を維持するのは難しい。

賛成

●経済効率が良く、環境問題にも安全と云うが、この部分こそが検討が必要である。
●広域化によって本当に経済効率が良くなるか疑問がある。
●平成16年に西部広域にゴミ焼却施設の設置と運営管理に関する事を決めただけで、一本化する事は一回も決議していない。
●基本構想一本化で進んでいくことは住民合意のないままに進むこと、これが一番大きな問題だ。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	眞壁
賛否	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○

●南部町賀野交流拠点施設・えんがーの富有
・・・あいみ富有の里地域振興協議会

賛成多数で可決

討論

反対

●元々、町で直接管理していた物件である。指定管理に出す必要がない。今回、指定管理の期間を2年にしたが、富有の里地域振興協議会が受けたくなかったので、2年にしたと聞く。

賛成

●新しい物件なので、いきなり振興協議会で引き受けるのには二の足を踏む事と会長の任期が2年間なので契約を2年としたと聞く。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	眞壁
賛否	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×

条例一部改正

●南部町国民健康保険条例の一部改正について
●南部町督促手数料及び延滞金徴収条例及び南部町後期高齢者医療に関する条例の一部改正について

全会一致で可決

特別会計補正予算

●国民健康保険特別会計補正予算
●後期高齢者医療特別会計補正予算
●病院事業特別会計補正予算
●鳥取県西部広域組合規約の変更に関する協議について
●鳥取県町村総合事務組合規約の変更に関する協議について

全会一致で可決

陳情

全国知事会の提言に基づき、新型コロナウイルス禍に於ける日米地位協定の抜本的改定に取り組むよう国及び関係機関への陳情書提出

賛成少数で不採択

討論

反対

●平成31年3月議会で採択し、意見書を提出しているので、あまり時間が経過していない。
●渉外関係知事会（略称）には提出しているが、全国知事会としては取り上げていない。

賛成

●今回、コロナ禍の中でアメリカ軍人、軍属が国内をフリーパスしている。米軍飛行訓練航路も大きく変更になっている。これらは国内で全く握めない。原因は日米地位協定にある。

議員名（議席番号順）	埴田	加藤	荊尾	滝山	米澤	長束	白川	三嶋	仲田	板井	細田	亀尾	眞壁
賛否	×	○	×	×	○	×	×	○	×	×	×	○	○

	議員名	発言時間	質問事項
1	細田 元教	30	1 2期目4年間の町政
2	白川 立真	20	1 防災対策（地震）
3	長束 博信	30	1 人権施策 2 教育
4	荊尾 芳之	30	1 スポーツ振興と行政の役割 2 南部町国土調査事業
5	板井 隆	30	1 保育園の統合建て替え 2 複合施設の運営
6	三鴨 義文	20	1 新型コロナウイルス関係支援策の検証 2 小規模経営農家に対する支援
7	加藤 学	30	1 国連家族農業とコロナ禍の農業対策 2 水道料金
8	谷田 光雄	20	1 板祐生の孔版画の魅力を発信
9	米澤 睦雄	30	1 保育園の整備
10	亀尾 共三	30	1 住宅リフォーム助成制度の創設を求める 2 国民健康保険税を2021年度も現状で実施を求める 3 町の公共料金に消費税の賦課をやめることを求める
11	仲田 司朗	30	1 農業の後継者問題 2 中小企業の後継者問題 3 西伯病院問題
12	真壁 容子	30	1 西部広域ごみ処理計画を問う 2 町のコロナ対策を問う



あなたの声を
町政に問う！

【質問の通告】
一般質問は、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

【一般質問の時間】
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に問います。

町長 子育て環境について、町の施設方針の中で、老朽化した保育園を改修すると言われた。令和三年度に基本構想を子ども子育て会議にかけて立てると言われたが是非とも二年をめどに実現していただきたい。さくら保育園とひまわり保育園は築40年を迎えようとしており、大規模改修の時期が来ている。つくし保育園は防災ハザードマップでは、浸水深が1.3mとされた場所であり、立地に課題がある。人口減少と少子化の課題も今後の保育園の在り方にとって重要である。

少子化に歯止めをかける意味からも保育園の長寿命化や、移転、統合の方針決定を急ぎ、その在り方を、子ども子育て会議で議論中である。保育園建設と運営は密接な関係があり、伯耆



A

大規模改修の時期が来ている

町長

Q

保育園の改修、改築計画は

陶山町政について

細田元教議員



さくら保育園



つくし保育園

の国の意向を交えながら検討し、行財政運営審議会に運営方針について諮問したい。

令和三年度に基本設計、四年度に、用地取得、詳細設計を行い、五年度に建設工事に着手、令和六年度にはオープンの計画を考えている。

●核兵器禁止条約の批准を求める意見書

全会一致で採択

発議案

- 議会改革調査特別委員会の設置について
- 複合施設建設調査特別委員会の設置について
- 効率西伯病院調査特別委員会の設置について
- 可燃ごみ処理広域化影響調査特別委員会の設置について

全会一致で可決

複合施設の名称は「キナル南部」

5月1日
グランドオープン予定

12月9日南部町議会は、複合施設調査特別委員会として、複合施設の視察調査に行きました。色々な意味をこめた「キナル南部」ですが、グランドオープンの日が待ち遠しいです。



お詫び なんぶ議会だよりお詫びと訂正

なんぶ議会だより第65号新委員会構成におきまして、長束博信さんの委員会表記に誤りがありました。お詫びして訂正します。

ながつかひるのぶ
⑥ 長束博信
○総務経済
予算決算
広報
(誤)

→

ながつかひるのぶ
⑥ 長束博信
○総務経済
総務経済
予算決算
広報
(正)

防災対策

白川立真 議員

Q 地域防災（学校防災）と避難所運営は

A 地域住民と協働し避難者自治を目指す 町長・教育長



白川 地震災害発生時、多くの被災者が利用する避難所の運営はどのようになっているのか問う。

地域防災、学校防災はどのような対策を講じているのか問う。

町長 地域防災計画では、震災時に置いて19か所、収容人員3350人を指定している。被災状況などを勘案して随時開設していく。

震災対応の場合、運営が長期化するケースが多いことから、初動3日目から地域振興協議会や防災リーダーが避難所運営の方向付けを行い、避難者による避難者自治を検討していく必要がある。

そのため、避難所運営の訓練計画を立て、地域振興協議会や住民と共に訓練を行い、問題を

洗い出すなどの対応をとりながら防災意識を高めていきたい。

地域防災については、町民一人一人の日頃の備えが重要である。また、災害弱者の避難については、地域コミュニティによる共助が重要である。現在、社協と協働で集落での災害対策について話し合いを進めている。

有事が発生した際、迅速、的確に初動できるよう体制づくりを支援していく。

教育長 学校防災について、発災時の引き渡し訓練などにも積極的に参加してもらっており、皆さんの防災意識は高いと思う。

南部中学校では、地域の方と協働して非常食を想定してのカレー作りにも取り組んでもらった。

今後、防災訓練だけでなく様々な場面で防災意識を高めていく事は重要だ。運動会などで防災器具などを取り入れてみることを検討したい。

人権施策

長束博信 議員

Q 町長就任2期目の人権政策・課題への姿勢は

A 人権の意識啓発をあらゆる場面で続ける 町長・教育長



長束 ①町長就任2期目にあたり、人権政策・課題への取組みへの姿勢、思いと決意はどうか。

②共生社会を目指す中で、社会生活する上での障がい者への配慮が十分と考えているか。

③インターネット上への誹謗中傷の書き込みモニタリングはどうか。

④みんなの人権意識調査結果の課題への取組みはどうなのか。

⑤差別事象が発生した時のマニュアルの出先機関・関係先への配布と研修はどうか。

⑥差別禁止、人権侵害を受けた人の救済を盛り込む条例改正は。

町長 ①人権は常に町民の暮らしとともにある。普段から意識啓発をあらゆる場面で続ける。差別は人が作り出すもの。人権とは自分を大切にし、他人

をも大切にすることだ。

②共生社会の実現を目指しているが十分な配慮ができていないと言いはない。県のあいさポータル条例を通じ周知、普及、啓発を行い理解を深めていただける努力が必要だ。

教育長 ③南部町独自のモニタリングはしていない。

ネットのスピード、拡散性の特性を研修や教育に取り入れている。

④人権問題に気づく人権感覚を養い、行動化につなげる学習が必要。総合計画にこのような事を盛り込み改訂を令和3年度に行う。

⑤関係機関へは周知が不十分。事象があった場合、関係先はまず通報の徹底が必要。各課では行動の取組みをしているが、今後関係機関も含めていく。

⑥全国の自治体の長を中心に法律の制定の要請行動を行っているがまだ実現に至っていない。行動を継続して行いつつ、町として必要なことは何か検討していく。

一般質問

南部町国土調査事業

荊尾芳之 議員

Q 事業の進捗率を上げるには

A 専門性の高い職員を育成する

町長



荊尾 町は、国土調査法に基づき平成5年から地籍調査を行っている。

この事業は、まちづくり、地域の防災力の向上、固定資産税の適正化等々住民にとって重要な事業である。しかし、非常に長期の年月を要しているうえ進捗が大変遅れている。その原因と課題は何か。また円滑な実施に向けての解決策を町長に問う。

町長 町は、地籍調査対象面積111.31kmのうち37.98kmの調査を令和元年度末で完了し、進捗率は34.12%である。

事業の遅れは、第6次10か年計画の中で生じた。この間の実績は、17.04kmを調査し、進捗率は15.31%で、計画に対し76%の調査にとどまり、遅れを生じた。特に、平成29年度から

令和元年度までの3か年の進捗率は0.6%で大きな遅れとなった。

原因は、筆界調査にかかる準則の一部改正だ。住所不明者で立会が得られない場合は、近隣所有者等の証言で筆界を確認して来たが、住所不明者で立会が得られない時は、筆界未定とするよう、準則で明確に定められたためである。このため、過去の6調査区で調査のやり直しと成果のまとめ直しが必要となった。

現在、令和2年度から令和11年度までの第7次計画にはいつている。令和11年度末には、43.24kmを完了し、進捗率38.84%を目指している。

事業を円滑に実施するために、公図を読む目や不明者調査のための戸籍簿の知識など、専門性の高い職員を育成しながら、引き続き鋭意進捗管理に努める。

子育て環境の充実

板井 隆 議員

Q 保育園の統合について

A 来年度には園舎整備の基本計画を策定する 町長



板井 町長マニフェストに「子育て環境の充実」が掲げてあり、保育園の統合、建て替えを視野に入れた子育て環境を進めるとあった。

今年度中には「第2期子ども・子育て支援事業計画」が策定される。今後の計画実行について問う。

町長 保育園の今後のついては、「子ども子育て会議」で検討しており、園舎の長寿命化や移転、統合など、様々なパターンで検討している。結論として、防災上、安全な立地や施設整備を考えていかなければならない。

園舎は長寿命化を図るのではなく、建て替えが望ましい。建て替えるなら、少子化を考慮して統合したほうがよい。統合を考えるなら、つくし・さくら保

育園ではないかとの方向性が出ている。

第2期子ども・子育て支援事業計画の策定にあたり町民からのアンケート調査では、子育て環境や支援についての意見をいただいた。そこから浮かび上がる課題を分類し、実施施策に反映させ、来年度中には、住民とのワークショップを開催したい。

安心して利用でき、自然災害に配慮した、園舎について、建て替えか大規模改修についての基本計画を策定したい。



Q 町独自の新型コロナウイルス支援策について

A 支援策の情報を提供を徹底していく 町長



三鴨 新型コロナウイルス感染症拡大は、都市部を中心に第3波が到来し、とどまることなく拡大し続けている。今日まで、国、県や市町村もいろいろな支援策を講じてきているが、本町での対策について、効果とどのような検証がされているのか問う。

町長 国は本年度に新型コロナウイルスウィルス感染症対応地方創生臨時交付金として第1次、2次と補正予算措置を行い、本町にも合わせて約3億7千万円の予算配分があった。これを活用して町独自の給付金やプレミアム商品券を含む支援チケットなどの支援策を行ってきた。

まず、1世帯に5千円を配布した、がんばろう！南部町応援商品券は、1955万円の発行

に対し、利用された額が165

5万円で11月末の換金率は84.7%となっている。子育て世帯に1万円の商品券を配布する子育て応援商品券は総数3066冊に対して2606冊の交換で交換率は85%となっている。コロナによって大きな打撃を受けた飲食事業者等に10万円を支援する頑張ろう飲食業応援緊急支援金は予算額250万円を交付決定済。

南部町版持続化給付金については予算額1500万円に対して、12名で200万円の交付決定となっている。この他にも様々な施策を講じてきたところであるが、臨時交付金ということから十分な制度設計が出来なかった事もあり、充分効果を発揮するに至らなかった点もあった。

今後は、より迅速で正確かつ効果的な施策実施に努めるとともに、町民の皆さんへの情報提供を広報等で周知徹底していくことが重要と考えている。

Q 国連家族農業とは

A 本町でも国が講じる施策を活用したい 町長



加藤 ①国連で決議された家族農業について、町長の考え方は。

②コロナ禍による米価の暴落が予想される中、南部町での対策は。

であり、米価暴落には至らないと聞いている。しかしながら、コロナ禍の終わりが見えない中で、事業者等への供給量の落ち込みによる米の需要調整が大変厳しくなっていることが予想される。関係機関等と連携しながら今後の対応をしたい。

③高収益作物次期作支援交付金に対して南部町の対応は。

③10月中旬に国は急遽、制度運用見直しを行い、当初予定していた交付金の対象範囲を大幅に狭め、交付額をコロナの影響による減収額を上限とする要件を新たに付加した。これにより本町においては、交付見込み金が減少することとなった。既に応募いただいた申請者に対し、11月上旬に説明会を開催し、中国四国農政局から直接説明をしていただいたところである。

町長 ①家族農業とは、農地の管理から運営までを1戸の農家で営んでいる農家、農業と定義されている。本町においても、これら国が講じる様々な施策を最大限に活用したいと考える。

保育園の整備

米澤睦雄 議員

Q 整備についての進捗状況、今後の方向性について

A 令和6年度春のオープンを目指す 町長



米澤 少子高齢化の進行に伴い、本町においても高齢者・少子化対策など様々な対策が行われている。そのうち、子育て支援策においては、第2期南部町子ども・子育て支援事業計画が策定され、その中で「保育園の老朽化対策や多様な保育サービスの提供を行うため、入所児童数の推移による施設数及び規模の適正化を図りながら、保育園の統合による建替と大規模改修による長寿命化を含めた検討を行っています。」と述べられている。そこで問う。

取り入れる考えがあるのか。④保育園の整備に当たって、整備の目標年度について。

①整備計画の現在の進捗状況について。

①2回の子ども子育て会議で現状と課題の整理を行い、保育園の長寿命化は図らない、防災の観点からつくし保育園の移転が必要ではないか。統合するならさくら、つくし保育園というところまで議論が進んでいる。

②第3回会議において望ましい立地について検討することになっている。

③新園舎建設にかかるワークシoppを行い、住民の意見を頂戴し、基本設計の中に取り入れる。

④令和2年度は、保育園のあり方を検討し、令和3年度はワークシoppを開催、令和4年度は用地取得と詳細設計、令和5年度に建設、令和6年度春にオープンを大枠で考えている。

一般質問

板祐生先生の孔版画の魅力の発信 谷田光雄 議員

Q 作品の使用許可を求める

A 利用目的等の審査結果で利用可能 教育長



谷田 緑水園の同敷地内に「祐生出会いの館」があるが、町民を含め板祐生先生の魅力を十分に発信出来ていないと思う。

文化的な財産だけではなく、観光振興や商工振興の面で活用したほうが、南部町を多面的にアピールする効果が見込まれると思うが、町として板祐生先生の作品使用の許可を求める。

教育長 今年度の来館者数は10月末時点で4200人を超える入館者があり、年間13回の企画展が成功したと考えている。また、ポスターやチラシを主に県内に配布し、町観光協会のホームページや山陰観光マップへの「祐生出会いの館」の位置情報の掲載、県の生涯学習の情報誌への掲載、BSSラジオ等へのスポットCMなどで

情報発信している。

特に日本海新聞の文化欄には副館長の投稿が毎回掲載され、中海テレビや伯耆テレビにも再三取り上げられている。

企画政策課と連携し、開館25周年を記念してキャッチフレーズの募集を行い、町内外全国から500点を超える応募があり、「祐生出会いの館」をより身近に感じられる取り組みも展開している。

孔版画作品や収集資料の使用については、現在でも所蔵品の展覧会への貸出しなど申請を受け、利用目的等の審査により利用することができる。

4万点にもおよぶコレクシヨンと板祐生のガリ版孔版画を宣伝、広報することは極めて重要で、その魅力を発信し町民の皆様が誇りに思えるような普及啓発活動が求められると考えている。



住宅リフォーム制度

亀尾共三議員

Q 住宅リフォーム助成制度の創設を求める

A 鳥取県・本町の制度の活用で理解を 町長



亀尾 住宅リフォーム助成制度の創設を求め聞く。人口増加の目的で、空き家借り上げ改修に、一軒に300万円の支援をしている。住み続ける方への支援はなく、修理ができない現状である。

住宅リフォーム制度は、地元の技能者、職人（大工・左官）の仕事が増え、地域での経済循環が図られる。

今住んでいる家の改修を考えた場合、経済的に修理できない方への支援と、地元の技能者への支援について聞く。

町長 市町村が行っている住宅リフォーム支援制度の施策目的は、地元中小企業の支援と経済の活性化及び個人の消費拡大である。

改修にあたっては地元業者への発注が要件となっている。

個人の財産形成につながる税金投入から、一定の政策目的にかなう対象要件について支援している。住み続ける方への支援は、新築の場合、定住促進奨励金制度、改修については、3世代同居等支援事業など制度を設けている。

空き家一括借り上げ事業は、所有者の希望で、移住を希望される方への受け皿となり、人口増加で税収にもつながる事業である。

この取組みでは、町内事業者に改修をお願いし、経済の循環を図っていると思っている。

高齢化やコロナ感染症により経済的に不安定な状況下において、住み続ける安心と将来性について、私も心配をしている。

鳥取県及び本町の現状の制度を利用し、家を維持していただきたいと思っている。

大型焼却炉建設計画

真壁容子議員

Q 焼却ごみの一本化・ごみ発電の再考を

A 町のCO₂実質排出ゼロと整合性はとれている 町長



真壁 先日の西部広域行政管理組合（以下西部広域）議会では、ごみの広域処理について、全構成市町村から参画の確認があったとのことだ。多くの住民が知らないまま、大型焼却炉の建設計画が進められようとしているが、住民不在の計画が暗礁に乗り上げることは歴史の教訓だ。改めて住民への説明を求め、焼却ごみの一本化、ごみ発電の再考を求めたい。

西部広域が構成全市町村の広域処理実施を確認したとのことだが、町はいつ、どのように回答したのか。ごみ行政に対する町の責任をどう考えているか。

建設費の焼却施設と発電施設の内訳、ごみ発電の売電価格と算出方法を示してほしい。

出ゼロとの整合性をどう考えているか。

町長 広域化に参加する考えに変更がないことは常々西部広域には伝えていたので、文書のやり取りは今回もしていない。広域処理になっても、前議会で1に減量化、2に再利用、3に再生利用、4に熱回収と申ししており、循環型社会の形成に責任を果たす所存だ。

建設費の焼却施設・発電施設別の内訳だが、西部広域からは算出していないとの回答だ。ごみ発電の売電価格は10円／キロワットアワーが想定されており、年間2億1000万円程度が見込まれている。

焼却熱を発電利用することはCO₂削減の計算に組み入れることができるため、広域化の大型施設に熱回収は本町のCO₂排出実質ゼロと整合性のとれたものと考えている。

中小企業の後継者問題

仲田司朗議員

Q 事業活動を維持するための事業承継は

A 町内外の人的交流を促進し事業承継を推進 町長



仲田 年商1億円未満の中小零細企業の約8割の企業が、後継者不足に陥っている。理由は、事業の将来性がない、後継ぎがいらない、事業承継の準備ができていない等の問題が考えられる。

①南部町の現状はどうなっているのか。

②町としてはどう考えているのか。

③会社の事業活動を維持し、後継者の方に引き継ぐために、今後どのようにしていこうとしているのか。

しい子供が県外進学したまま帰ってこない、知識や環境整備が不足している等々の理由が上げられる。

①南部町商工会員170名の中で、60歳以上となる経営者が91名の内、現在のところ42・8%の方が後継者がいないと回答されている。

②国と同様に後継者問題は喫緊の課題であり、事業者の減少は地域経済の衰退、地域活性化の停滞を招くことになるので、町と商工会が協働して後継者問題とともに創業支援に取り組み、事業者減少に歯止めをかけた

③移住定住者や起業希望者と後継者不在の事業者とのマッチングを進めていきたい。また、町内外の人的交流を促進し事業承継を推進することで小規模事業者の維持、確保へとつながることを目的とした事業承継セミナーを開催しながら、地域経済を衰退させない取り組みをしたい。

議会活動日誌

6月		
日	曜日	会議・行事
24	水	南部中学校まち未来科来庁（議会議員への聞き取り）
30	火	鳥取県西部町村議長会臨時会
7月		
日	曜日	会議・行事
7	火	広報委員会①
14	火	広報委員会②
20	月	全員協議会（西部行政管理組合ごみ処理施設勉強会） 広報委員会③
21	火	鳥取県町村議会議長会定期総会
31	金	鳥取県町村議長女性議員研修会
8月		
日	曜日	会議・行事
5	水	鳥取県町村議会広報研修会
6	木	南部町議会臨時会
7	金	鳥取県町村議会議長会役員会
17	月	議会運営委員会
19	水	南部町・伯耆町清掃施設管理組合議会
21	金	南部箕竃屋広域連合定例会
9月		
日	曜日	会議・行事
3	木	定例議会 議会運営委員会・全員協議会、本会議
4	金	定例議会 本会議
7	月	定例議会 一般質問
8	火	定例議会 一般質問
9	水	定例議会 一般質問、常任委員会
10	木	常任委員会
11	金	常任委員会
14	月	常任委員会
15	火	常任委員会

16	水	常任委員会
17	木	定例議会 議会運営委員会・全員協議会
18	金	定例議会 本会議
10月		
日	曜日	会議・行事
1	水	鳥取県町村議会議長会役員会
8	木	南部町戦没者献花式
12	月	西部町村議会議長会臨時総会 鳥取県町村議会議長会臨時総会
29	木	南部町議会臨時会
11月		
日	曜日	会議・行事
5	木	広報常任委員会①
6	金	南部箕竃屋広域連合議会臨時会
9	月	南部町議会臨時会
12	木	広報常任委員会②
13	金	鳥取県町村議会議員研修会
17	火	議会運営委員会
18	水	鳥取県後期高齢広域連合定例会
19	木	広報常任委員会② 鳥取県西部広域行政管理組合議会定例会
12月		
日	曜日	会議・行事
4	金	定例議会 議会運営委員会・全員協議会、本会議
7	月	定例議会 一般質問
8	火	定例議会 一般質問
9	水	定例議会 一般質問、常任委員会
10	木	常任委員会
11	金	常任委員会
14	月	常任委員会
15	火	定例議会 議会運営委員会・全員協議会
16	水	定例議会 本会議



7. 地域内経済の循環を図られたい。

要旨 可能な限り町内事業者の活用を図られたい。

8. ひきこもり対策事業の啓発に努めていただきたい。

要旨 今年度までの引きこもり対策事業への取り組みについて報告し、今後の具体的な啓発方法について計画を示していただきたい。

- 実態の現状把握がどこまでできたのか。 ●実態把握後の事業の評価と訪問活動の状況について。
- 引きこもり家族への啓発の推進。 ●社会復帰に導くために、どのように職員のスキルアップを図るのか。

9. 人権侵害の解消に向けた取り組みを図られたい。

要旨 様々な人権課題へ取り組み中だが、あらゆる差別の解消に向けて対策を図られたい。
また、子どもの貧困と生活困窮者との関連性からこの課題に向けた適切な対策の取り組みを積極的に図られたい。

- 子どもの貧困解消 ●女性差別の解消 ●障がい者差別の解消

10. 特定健診・がん検診の受診率を前年度より向上されたい。

要旨 受診率の伸び悩みが解消されない現状に対し、前年度よりわずかでも向上するよう努められたい。
検診受診率向上策を示されたい。

- 個別に電話作戦など努力されているが、前年度比の上昇に努められたい。

11. これからの町立の4保育園はどうあるべきか保育計画を示されたい。

要旨 さくら保育園とつくし保育園を統合する。令和5年度に建設すると町長は子ども子育て会議の意見を踏まえて発表されたが、将来における町立保育園はどうあるべきか、保育計画を示していただきたい。

- 町は住民の声をきき、住民本位で、4園の保育園のあるべき姿を計画し示されたい。

12. 西伯病院を地域医療の中核施設として反映していく体制の考え方を示されたい。

要旨 ●地域医療を守る政策を示されたい。 ●コロナ対策で、感染予防と住民の暮らしを守ること。
●医療従事者のケアを十分に行っていただきたい。

13. 環境対策として2050年に向けカーボンニュートラルをめざす具体的方策を示されたい。

要旨 町は、CO2削減に向けて動き出している。リサイクル率37%を目指すとしている。
今後の環境政策について具体的に示していただきたい。

- 町のごみ対策としての具体的なごみ処理計画を示すこと。

【特記項目】

毎年度「町政に対する要望書」を提出し、回答書によりその年度の対応方針について確認を得ているが、実施結果及び対応状況（対応経過）が議員に知らされない状況にある。当該年度の中で、要望に対する実施状況の報告を得る機会が持てないか。

令和3年度 町政に対する要望事項

1. 財政の健全化を引き続き図られたい。

要旨 大型事業が続く中、コロナ関連の事業費が増大している。繰越費と合算し、今度も適正な予算配分を検討されたい。

2. 引き続き交通体系の構築を図られ令和3年度の再編実施に努力されたい。

要旨 現状の交通体系は、必ずしも地域のニーズに合致した状況にはないと思われる。誰もが利用しやすい公共交通構築を講じられたい。

- 地域住民の移動手段の確保と交通弱者の生活機能確保のための手段の確保。
これらを地域特性に応じた利便性をも考慮され、再編実施されることを要望する。

3. 農林業を守る施策を講じられたい。

要旨 南部町の基幹産業である農業は、従事者が高齢化すると共に後継者不足・農家離れも顕著となってきた。小規模零細農家への支援と技術助成により農家離れを防ぐ方策を図られたい。併せて、後継者育成のための施策を講じられたい。

- 農業用施設整備及び経営維持の補助制度の拡充と周知について検討されたい。

4. 防災体制と防災意識の高揚を図られたい。

要旨 わが町は、2000年の「鳥取西部地震」を経験し安心安全なまちづくりに取り組んでいるが、近年、全国至るところで地震・台風・豪雨災害などにより甚大の被害が発生している。町民には、防災マップが配布されているが町民の防災意識の高揚と地域の防災力を高めるためには至っていないと思われる。地域の防災力を向上させるために行政と地域が協働して防災体制と防災意識の高揚を図られたい。

5. 公共施設の統廃合等を含めた運営計画と長寿命化を図られたい。

要旨 公共施設の運営管理の課題として、経年劣化し維持修繕に多くの経費が掛かると共に利用頻度の少ない施設も見受けられることが挙げられる。これからの人口減少社会の中で、公共施設の在り方を抜本的に見直す必要性は高いと考えられる。

- 道路・河川を含め早急に管理方法の見直しと全施設の点検を実施され施設の長寿命化を図られたい。

6. 定住化対策を推進し、人口減少に対する施策を図られたい。

要旨 人口減少に歯止めをかける方法を講じられたい。





二十歳の誓い

1月10日（日）令和2年度南部町成人式がとっとり花回廊で行われました。コロナ禍の影響で開催も心配されましたが、実行委員の熱い思いで出席者全員が事前にPCR検査を受け、式典の最中は、マスク着用など、コロナ対策に万全の注意を払い開催されました。

お礼の言葉

新成人代表 西田 彩音

本日はできる限りの感染予防策をとり、私たちにとっての一生に一度の成人式をこのように催していただいたことに、深く感謝を申し上げます。

私は今、大学に進学し、小学校教師になるために勉学に励んでいます。

将来は、生まれ育った南部町に帰ってきて、今まで私を支えてくださった方々に恩返ししていきたいと思っています。

私たちは、これから一人の大人として、社会の一員として生きていきます。自分のことだけでなく、仲間のこと、職場のこと、地域のこと、そしてやがては大切な家族のこと、様々に関わりを広げて行くことになりま。わたしたちのふるさととは、どこにいても、何をしていてもこの南部町です。本日は本当にありがとうございます。



あとがき

「持つべきものは友」

「続けることは力」

この文章を書いているのは1月16日。大学入学史上、初めての大学入学共通テストの初日。今から42年前の今頃は史上初めての大学共通第1次学力試験、通称『共通一次』を受けていた。この頃、ラジオで深夜に聞いていたのがラジオ講座。通称『ラ講』。このラ講の中で良く耳にしたのが初めに記した二つの言葉。今の季節になると、この二つの言葉をよく思い出す。会社勤めをしていた頃は友達の顔を思い出し、つい飲みに誘ったりした。そして、今も続けている雑多な事を思い浮かべ、果たして、何の役に立っているのだろうか？と考えたものだ。あの頃に比べると、今は随分と変わった。なんと云っても新型コロナウイルス感染症拡大で社会が大きく変わってしまった。にも拘らず、今年もこの季節になると、「持つべきものは友」と、「続ける事は力」である。進歩がないと云われれば、まあ、仕方がない。その通りである。

しかし、新型コロナウイルス感染症の影響は色々な所に現れた。遠くの友と40年振りに会う約束は果たせなくなってしまった。今も続けている事は少なくなってしまう、読書くらいになってしまった。

広報常任委員会

委員長

副委員長
委員

加藤 学
荊尾 芳之
景山 浩
板井 隆
白川 立真
長束 博信
米澤 睦雄
谷田 光雄